

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年6月23日(2016.6.23)

【公開番号】特開2015-6253(P2015-6253A)

【公開日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2015-003

【出願番号】特願2013-132857(P2013-132857)

【国際特許分類】

A 6 1 C 13/235 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 13/235

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月28日(2016.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

残存歯を有する歯槽堤に着脱可能に装着して用いられる第一義歯床と、前記第一義歯床に対して分離可能に吸着させて用いる第二義歯床と、を備える部分床義歯であって、

前記第一義歯床および前記第二義歯床は、互いに磁力吸着する複数対の磁石または磁性体が歯列方向に離間した対応位置に設けられた吸着面をそれぞれ有し、

前記第一義歯床または前記第二義歯床は、人工歯と、前記人工歯よりも歯列方向の外側に延在する人工歯肉部を有し、

前記歯槽堤に装着された前記第一義歯床と前記第二義歯床とを複数対の前記磁石または前記磁性体で磁力吸着させることにより、前記第一義歯床と前記第二義歯床との位置および向きが規制されるとともに、前記残存歯のアンダーカット部に前記人工歯肉部が係止されて前記第一義歯床および前記第二義歯床が前記歯槽堤から離脱することが抑制されることを特徴とする部分床義歯。

【請求項 2】

前記人工歯が前記第一義歯床に設けられ、前記人工歯肉部が前記第二義歯床に設けられているとともに、前記人工歯肉部が前記人工歯を挟んで前記歯列方向の両外側に達する長さで形成されている請求項 1 に記載の部分床義歯。

【請求項 3】

前記第一義歯床は、前記残存歯を挟んで歯列方向の両側に前記人工歯をそれぞれ備え、

前記第二義歯床は、前記残存歯を挟む両側の前記人工歯に亘る長さの前記人工歯肉部を備えるとともに前記人工歯にそれぞれ対応する位置に前記磁石または前記磁性体が設けられている請求項 1 または 2 に記載の部分床義歯。

【請求項 4】

前記第二義歯床の前記吸着面は、歯槽頂を超えて前記第一義歯床の内側に進入する凸部を有さない程度に平坦に形成されている請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の部分床義歯。

【請求項 5】

前記第一義歯床または前記第二義歯床の少なくとも一方は、前記第一義歯床または前記第二義歯床の他方を嵌合させる凹溝を備え、

前記凹溝は、前記残存歯に隣接する前記人工歯において前記残存歯に近接する側に少な

くとも形成され、かつ前記残存歯に向かって端部が開放されている請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の部分床義歯。

【請求項 6】

前記人工歯が、前記第一義歯床と前記第二義歯床とに分散形成された複数の分割歯を一体に組み合わせてなる請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の部分床義歯。

【請求項 7】

複数の前記分割歯が咬合方向に互いに係合することを特徴とする請求項 6 に記載の部分床義歯。